

2022年5月18日(水)

## 『ガバナー補佐としての最終例会訪問』

卓話者 2021-22年度国際ロータリー第2630地区岐阜Aグループ

ガバナー補佐 森 益男 様

岐阜北ロータリークラブの皆さん こんにちは  
岐阜Aグループの本年度ガバナー補佐、岐阜中ロータリークラブの森でございます。本日はガバナー補佐として、最後の例会訪問となります。1年間、誠にありがとうございました。



私は、岐阜中ロータリークラブに創立メンバーとして入会以来30年余り、ホームクラブでの活動以外、地区の組織とはほとんど関りもなく、過ごしてまいりましたので、この1年は色々勉強させていただき良い機会と思っておりました。しかしながら、2年以上続くコロナ禍のため、多くのイベントや会議が中止や縮小に追い込まれたり、ZOOMによるリモート会議となるなど、誠に残念な思いをいたしました。

ただ、そんな中ではありましたが、岐阜Aグループにおきましては10月に延期して開催をいたしました「I.M.及びガバナー公式訪問合同例会」と「Aグループの会長・幹事懇談会」等をはじめとして、ガバナー補佐として印象に残る出来事もございました。

例えば、7月に訪問した岐阜ロータリークラブさんでの卓話「論語と算盤」の卓話に感銘を受けて、本年4月の岐阜東ロータリークラブとの合同例会に、改めて講師としてお招きし、ロータリアンの職業奉仕についての卓話をお願いした結果、両クラブの会員へ大きな示唆を頂くことができました。

また、おなじく4月には「I.M.及びガバナー公式訪問合同例会」で、東北の大震災での職業奉仕に関するテーマで講演をお願いした鈴鹿ベイロータリークラブの中野様が、私たちのクラブ例会を訪問、温かい言葉を頂き感激をいたしました。

さて、話題は少し変わりますが、最近の国際情勢に目を向けてみますと、特にロシアのウクライナ侵攻の報道には、連日、強い憤りを感じています。社会問題、特に貧困や保健、教育等には力を入れてきた国際ロータリーの活動ですが、全ては平和あってこそその運動であることを日々痛感しているところです。

現在、国際ロータリーはアフガン等の国々のポリオ撲滅に力を入れています。翻って、かの国では、女子教育等に多々問題があるタリバン政権とIS集団との内戦状態が未だに続いており、人身売買や貧困により餓死する国民も多いと聞いています。このような現実に対して、ロータリアンとして、皆さんはどうお感じでしょうか。

今期も残すところ1ト月余りとなりました。冒頭申しました通り、この困難な時期に着実にクラブを運営されてきました貴クラブの会長さんをはじめ会員の皆様に、ガバナー補佐として改めて大きな敬意と共に感謝を表したいと存じます。また、来期は長良川ロータリークラブより新しいガバナー補佐が始動されます。ご協力をどうぞよろしく願いいたします。

最後になりますが、岐阜北ロータリークラブさまの益々のご発展を祈念しまして、ご挨拶とさせていただきます。1年間、誠にありがとうございました。